

内藤とうがらしコラボ企画商品「友好・愛のチョコ」の売上の一部を
新宿区/伊那市の子供親善交流に寄付いたします



ドルチェカーリーナ 柴 宏治(しば こうじ) 長野県伊那市生まれ。パティスリー、ジェラテリア、和菓子店などで経験を積み 2004 年にショコラ、イタリアンジェラート、洋菓子全般を扱う「ドルチェカーリーナ」創業。長野県洋菓子協会理事、日本ジェラート協会会員。ジャパンケーキショーTOKYO(日本で最も権威のある洋菓子コンクール)コンフィズリー部門複数回入賞。

長野県伊那市



■チョコレート・・・西暦 1500 年ころ

その昔、唐辛子は大航海時代にコロンブスが南米で発見し欧米に持ち帰り世界に広めたものです。チョコレートの原料「カカオ」も同じ南米でコロンブスが発見、先住民はカカオを絞った液に唐辛子を入れて飲んでいたことが記録されています。その後、カカオが欧州に渡り、その飲み物が食べるチョコレートになり、世界中に広がっていきました。
唐辛子とチョコレートは古くから縁があったようです。

協力 新宿区・伊那市・新宿観光振興協会・内藤とうがらしプロジェクト・ドルチェ カーリーナ

新宿区/伊那市 友好提携 10 周年記念

内藤とうがらしコラボ企画

友好・愛のチョコ



高遠藩内藤家家紋

新宿区と伊那市(旧高遠町)との縁は江戸時代に遡ります。現在の新宿御苑一帯が高遠藩主内藤家の下屋敷であり、その一部が新しい宿場「内藤新宿」となった関係から友好を深め、約 20 年前の昭和 61 年 7 月 12 日に友好提携を宣言いたしました。



江戸東京野菜



東京都新宿区

■内藤とうがらし・・・西暦 1700 年ころ、そして現在へ

江戸時代、新宿一帯は内藤藩の領地で内藤新宿と言われていました。内藤家の下屋敷(現在の新宿御苑)で栽培されていた唐辛子が江戸中の評判になり、新宿は一大唐辛子産地となりました。秋になると四谷から大久保方面を眺めると真っ赤な絨毯が引き詰められている光景だと記録されております。明治時代になって絶滅したこの唐辛子の種を探し固定種にして、現在では伝統の江戸東京野菜として認定され復活、普及し始めております。

友好・愛のチョコ 1 個 864 円(税込、配送料別途)

お買い求めは「内藤とうがらしプロジェクト・オンラインストア」にて (<http://naito-togarashi.tokyo/>)

内藤とうがらしプロジェクト

検索



ご注文受付期間、配送日について

<第一弾受付・配送>2017 年 1 月 11 日～1 月 27 日まで 第一弾受付の方へは 2 月 10 日頃までに商品をお届け予定

<第二弾受付・配送>2017 年 1 月 28 日～2 月 24 日まで 第二弾受付の方へは 3 月 10 日頃までに商品をお届け予定

なお、詳細(配送料など)につきましては、ホームページをご覧ください。